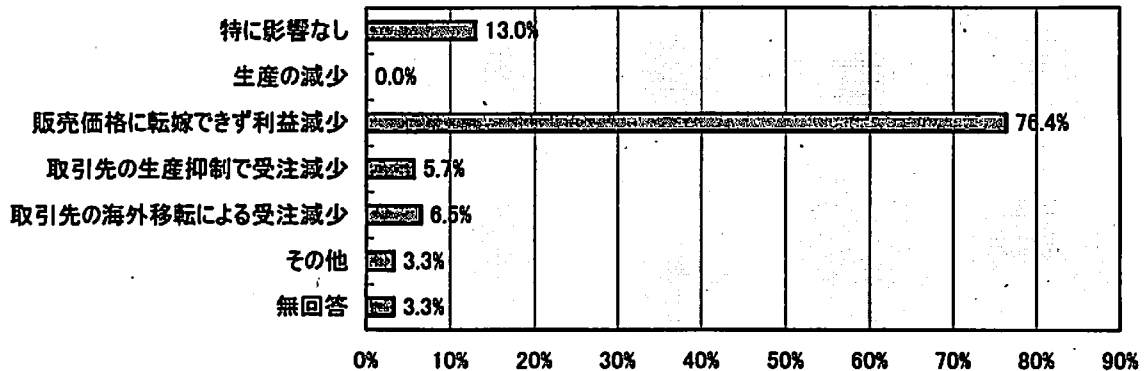


電気料金値上げによる影響等についてのアンケート調査結果

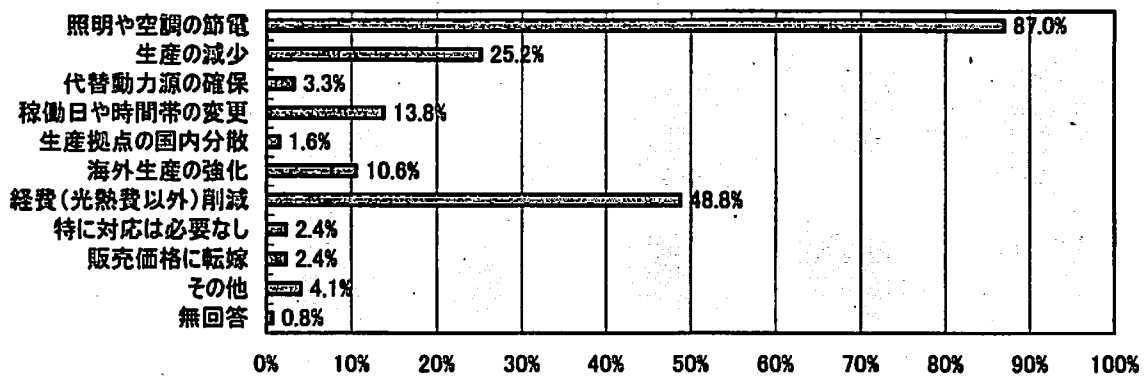
(一般社団法人滋賀経済産業協会との共同調査)

調査票送付数	399	製造業・非製造業の別			
回答数	123	① 製造業		② 非製造業	
回答率	30.8%	91	74.0%	32	26.0%

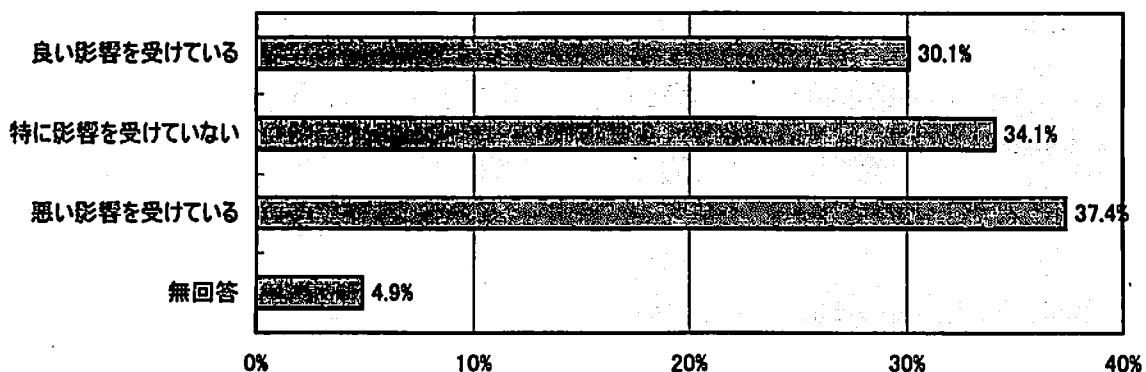
① 「電気料金値上げによる影響」(複数回答)



② 「電気料金値上げに対する対応は」(複数回答)



③ 「円安の影響」(複数回答)



「円安の影響」について

「良い影響を受けている」理由

輸出が多い
輸出増大による影響
輸出が多い為
海外向金型増
輸出がメインの為
海外からの引合増加傾向
輸出事業での収益の改善
輸出品の収益改善
海外向製品の円安メリットあり
海外販売が好調
海外生産拠点向け部品の受注増
売り値UP
海外市場での価格競争力も高くなる
販売価格の低下
ユーザーが好影響、一部輸出
輸出企業の復権とマーケット好転
取引先は輸出企業なので
輸出産業向の木パレット需要増
顧客の輸出向製品の受注増
顧客が大幅な損益改善となる為
顧客の業績アップによる設備投資
販売先の海外向け製品が好調
請負作業量の漸増
取引先の業績回復、株式市場の好転
ドル、ユーロ建取引による為替差益
ドル建資産の評価益を計上
相場上昇
製品代金、利益確保
国内産業の向上による設備投資が見込まれるため
明確ではないが、海外からの輸入はブレーキがかかっているのでは…
市場は外にある。自由貿易競争が良い。

「特に影響を受けていない」理由

国内取引がほとんどのため
主に内需向けの為
国内調達及び販売の為
海外取引がない為
輸出入に余り関係がない
輸出货量と輸入量バランスはとれている
輸出が好調となることにより、仕事が増加する反面、燃料価格が上昇することによる利益減
海外小会社への貸付金の評価益が発生するも、実態は不変
原則として円建て契約
円建により
業種柄、現時点ではあまり影響はない
まだ我々の業種にはあまり影響していない ガソリン代の値上げ
弊社ユーザーの生産増加等の実体経済への影響はまだ明確になっていない。
今後の悪化懸念あり
現在のところなし
現在、今後は？

「悪い影響を受けている」理由

食材などの値上
材料等の値上げ
原材料が全て(80%)輸入の為
主な原材料を輸入している
ガス、原材料の値上がり
材料が高くなっている(仕入)
材料の値上げ
材料価格の上昇
材料費のアップ
消耗品の値上げ(海外生産分)
原燃料コストの増加
輸入資材(木材)の高騰
資源高騰
原材料の高騰
輸入原料の高騰による
原材料高
原料費(ナフサリンク)アップ
原材料等の値上り
資材費(材料含む)の価格上昇
輸入原材料の価格上昇・化石燃料の価格上昇に伴う物流コスト増
原料価格上昇が価格転嫁出来ない
原材料価格の高騰
輸入原材料の値上げ
原材料値上がり
輸入品価格の上昇
輸入価格上昇
購入価格の上昇
輸入品 価格up
仕入商品の値上げが販売価に転嫁できず
仕入価格高騰
食品関連商品の仕入価格上昇
海外仕入れ品のコスト高
輸入部品の価格が高騰
調達価格上昇
海外調達部材のコストup
輸入が多い為
Out-INの生産
燃料費増加
燃料(重油)値上げ
エネルギー費の増大
燃料高
エネルギーコストの高騰
金利動向の不安感